

紫の花に問はしむ 朧月

おぼろ

びん  
鬢のほつれに戸惑う今宵

令和四年四月二十二日

大中臣正比呂



紫の花を瓶に立て、「お月様も冴えないし、ねえ、今夜はどうしようか」

と言ってはみたが、紫の上には分からぬ仕儀か。いや、知らん振り？

光源氏もなかなか大変と思うのですが、諸兄は如何に。